

2018 9/29(土) 10:00~12:00

SGH 高大連携課題研究プロジェクト留学生指導 第1日目 グループ記録用紙

記録係が記入し、相談会の終わりに当日の担当の先生に提出すること。

グループ番号 _____ 記入者 1年 _____ 組 _____ 番 氏名 _____

自分たちの研究を詳しく説明し、次の観点でアドバイスをもらうこと。

また、10/27(土)の中間発表会までにパウポのスライド作成が必要です。授業時間が使えるのは、10/4 と 10/18 のみです。この中間発表会がほぼ完成となるよう準備を進めてください。

下記の観点は「課題研究メソッド」(教科書)を参考にしています。

1 研究の背景・意義について(問題提起・何をおこなうか)

どのような地域課題を解決するための研究か。この研究の必要な理由は？面白そうか？価値があるか？過去の取り組み(先行研究)はどのようなものがあったかなどを示し、意見をもらう。

2 研究手法(調査方法やデータのとり方など)

どのようなリサーチクエッションに対してどのような調査方法をとったのか、とろうとしているのかを示し、意見をもらう。研究を深めるためにはどうしたらいいか、どのようなデータをどのように集めたらいいかなど考えよう。

3 結果・考察について

データなどを含めて結果と自分たちの考察を示し意見をもらう。

4 結論・展望(まとめと今後の展望)について

研究の結論(リサーチクエッションの答え)を述べ、さらに、今後どのように発展していくかを示して、意見をもらう。

説得的な研究にするためには、データで納得させるというのが一番強力ですね。正しく実証すれば、まず反論できません。経験の浅い若者が教授を納得させるにはデータです(一昨年12月のSGH研究成果発表会での松金公正先生からの講評より)

データには2種類あります。うまく選択していこう。

(1) 数値で集められるデータ (2) 数値でないデータ(インタビューやアンケートの自由記述)

次回の留学生指導は10/20(土)9:00-11:00です。